

せるさいくる



第32号
2019年8月15日
北海道細胞検査士会発行
発行責任者 椎名 真一
会 長 藤岡 学

北海道細胞検査士会会報

会長挨拶

札幌徳洲会病院 藤岡 学

3月に開催された北海道細胞検査士会総会で承認を得て、会長の大役をおおせつかることになりました。5月に令和となりましたが、本年度は役員改選の年で、新役員も加わり構成も変わりましたので、会員の皆様には、北海道細胞検査士会ホームページで確認していただければと思います。2019～2020年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

5月には、北海道は記録的な暑さにみまわれ全国的なニュースになりました。今年の北海道の夏は、冷夏なるという予報も出ていますが、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。暑中見舞い申し上げます。

本年度に入り北海道細胞検査士会は、4月7日(日)に「2019LOVE49」を札幌地下街ポールスクエア三越前広場で開催しました。例年であればテレビ局のニュースや新聞社の記事に取り上げられ、全道の皆様に、子宮頸部がん検診の必要性や細胞検査士の存在をアピールできるのですが、今年は北海道知事選挙などと重なり、取り上げられる事はありませんでした。しかし、パンフレット等を受け取っていただいた方から「昨年もやりましたね」と、お言葉をいただくなど、少しずつですが認識され始めてきたと感じました。お手伝いいただきました会員の皆様のおかげで、多くの方々に子宮頸がん検診の大切さをアピールできたと思っております。

本年度の事業は、プレパレートサーベイ、検査 de フェスティバル、細胞検査士模擬試験講習会①・②、北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会、わかばセミナー、細胞診従事者講習会・北海道細胞検査士会・総会と続きます。本年度も多くの会員の皆様に参加していただけるよう、開催に向けて準備を進めておりますので、宜しくお願い致します。

本年度も役員一同、スムーズな会の運営と会員の皆様に、参加意欲掻き立てて頂けるような企画を考えて参ります。また、2020年は北海道細胞検査士会50周年を迎えます。現在、実行委員会を立ち上げ、記念事業を検討しております。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さて、嬉しい報告ですが、先日の東京で開催された日本臨床細胞学会総会春期大会にて、北海道細胞検査士会4代目会長の田上稔氏が、長年の功績を讃えられ日本臨床細胞学会技師賞を受賞されました。ご受賞おめでとうございます。

最後に、先日の日本臨床細胞学会総会春期大会で開催された細胞検査士会の役員会、都道府県代表者会議、日本臨床細胞学会総会の内容を一部抜粋して下に報告し、挨拶とさせていただきます。

<役員会、都道府県代表者会議、総会より抜粋>

- 1) 幹事選挙 2018年11月3日開票
選挙人 256名(1792票)中、232通(1620票)が有効、172票が無効
役員(幹事)34名が、総会で承認された。
会長:伊藤 仁、副会長:阿部 仁、小松 京子
- 2) 会員数 : 日本臨床細胞学会 13,384名
細胞検査士会 7,739名 (正会員 1,113名 準会員 6,616名 功労会員 10名)
- 3) 2020年の日本臨床細胞学会秋期大会で伊藤仁会長が学会長を務める為、多くの細胞検査士の方に参加をして頂き、学会成功を目指す。
- 4) 細胞検査士会ホームページへのLOVE49活動関連ページへの取り組みを掲載。
- 5) 第11回日・台・韓細胞検査士合同セミナーを台湾にて開催。
- 6) 日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策の検討。
(細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップ受講に関する正会員優位性を含む)

子宮の日(4月9日)LOVE49 キャンペーン活動報告

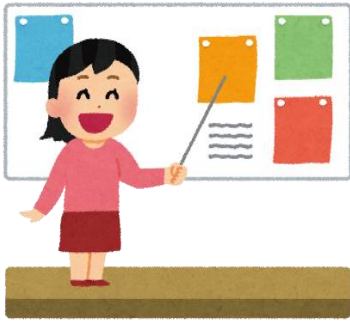


20～30 歳代の若い女性に急増中の子宮頸癌ではありますが、定期検診を受けることで予防できる癌です。しかし、検診の受診率は低いのが現状です。この状態を少しでも打破し子宮頸癌で命を落とさないように、子宮の日(4月9日)を、LOVE49 街頭アクションと称して、細胞検査士や病理医等の医療従事者が主体となり子宮頸がん検診啓発活動を全国 49 都道府県各地でキャンペーン活動を毎年行っています。北海道では、2019 年 4 月 7 日に札幌地下街ポールスクエア(三越前広場)で活動しましたので報告致します。

前々日の 4 月 5 日に 15 名の方にご協力いただき、約 1 時間で当日配布する 2000 部の啓発グッズを袋詰する事が出来ました。完成した 2000 部の啓発グッズの量の多さに唖然としましたが、このグッズを配ることで、皆様に少しでも子宮頸がんに関心を持っていただければと思いました。

4 月 7 日当日は肌寒く、春が待ち遠しい天気でしたが、地下街での開催もあり寒さを感じることもなく子宮がん検診受診・予防啓発リーフレットを 28 名の協力者の元、協賛企業から提供され用意した 2000 部の啓発グッズを、約1時間で無事に配布する事ができました。毎年、LOVE49 の啓発事業を継続している事で、「4 月 9 日は子宮の日」であることを認識して下さる方が増えてきていることを実感しました。がん検診の必要性と検査に従事している細胞検査士の存在を多くの皆様に知っていただけよう今後も活動を継続していきたいと思えます。6 月に行われた日本臨床細胞学会総会春期大会に参加された方は、全国各地の LOVE49 の取り組みのパネル展示と第 6 回子宮の日全国アクション-2019 報告会が行われました。学会に参加された方は拝見されたでしょうか？

<文責 総務 椎名>



東京都

第 60 回日本臨床細胞学会 総会・春期大会



「第 60 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)に参加して」

北海道大学病院 病理部 後藤 久美

京王プラザホテル、NS スカイクンファレンスにて、6 月 8 日、9 日の 2 日間、竹島信宏会長(がん研究会有明病院)のもと標記学会が開催されました。「臨床に寄与する細胞診」というテーマで開催された本学会は 60 回という節目の学術集会であり、初日から多くの参加者で活気に溢れ、立ち見の会場も多く見受けられました。学会のことについて書く機会をいただくとは思いませんでしたので、詳細なメモを残しておらず、記憶を辿り断片的な内容となってしまうことを予めお詫びいたします。

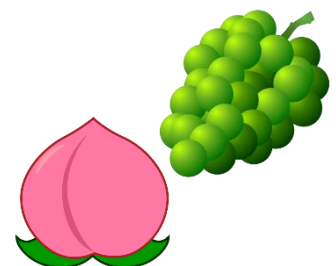
教育講演 骨髄 :血液業務と兼任していない限り、細胞検査士にとり骨髄性疾患は苦手意識のある分野です。東海大学医学部基盤診療学系病理診断学、中村直哉先生によるギムザ染色の見方のコツや、1 回位は見るとは思えない希少例として、芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍(BPDCN)、組織球性肉腫などの症例を解説いただきました。

一般演題 人工知能(Artificial Intelligence:AI)を用いた細胞分類 :Deep Learning(深層学習)とは、ヒトの神経細胞をモデル化した人工のニューラルネットワークで多層ニューラルネットワークを用いた機械学習の一分野であり、人工知能(Artificial Intelligence:AI)技術で医療用画像による病変の検出支援や病理組織診断支援の実用化が進められていきます。本学会でも Deep Learning を用いた細胞検討は幾つかありましたが、福井大学医学部附属病院病理診断科/病理部、森 正樹技師の婦人科頸部細胞診のセッションを拝聴しました。表層・中層, 化生細胞, HSIL は 100%、概ね 90%近い正答率の中、ASC-US の誤認識が課題となるとのことでした。

招聘講:CYTOPATHOLOGIST ON THE FRONTLINE OF FNA CLINIC AND GENOMIC LABORATORY
Dr Fernando C. Schmitt の講演の前に国際細胞学会(IAC)長村義之先生から IAC の活動報告と、Acta Cytologica が 2020 年に Impact Factor を再取得するという嬉しいご報告がありました。Impact Factor 再取得に尽力された Dr Fernando C. Schmitt は FNA の採取検体の処理から診断まで行う病理医としてのご経験から、時に祖国ブラジルのお酒のジョークも交えてのご講演でした。

2018 年の診療報酬改訂により、EBUS-TBNA によるリンパ節の吸引に限り、迅速細胞診として保険収載されました。臨床の現場に出向き、採取された材料についての評価を行う オンサイト迅速細胞診(rapid on-site cytologic evaluation: ROSE)は人員の確保、未だ保険点数の対象外となるものが多い、そして感染症対策など課題はあるものの、今後 EBUS-TBNA に限らず、検査の要望が増えたとおわれ、海外の最先端の医療施設の状況は興味深い内容でした。

第 60 回記念都道府県推薦枠でのポスターセッション発表の機会をいただきましたことは大変貴重な経験となりました。次回は岡山県倉敷市で第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会が開催されます。倉敷美観地区や山海のグルメなどがあり、今回と同様に盛会となりますことを祈念いたします。



日本臨床細胞学会技師賞受賞にあたり



社会医療法人考仁会 北海道大野記念病院 臨床検査部 田上 稔

この度、6月8日に京王プラザホテルで開催されました第60回日本臨床細胞学会総会におきまして、2018年度の荣誉ある学会技師賞(功労部門)をいただき誠に光栄なことと感謝しております。今回の受賞に際しましては、ご推薦をいただきました北海道臨床細胞学会代表理事の松野吉宏先生はじめ理事の先生、北海道細胞検査士会のみなさまに心より感謝申し上げます。

1978年に北海道対がん協会に入職して以来、がん検診業務に従事するかたわら北海道臨床細胞学会の理事や細胞検査士会の役員などを歴任させていただき、細胞診断に関わる多くの方々との交流を通して細胞検査士として成長させていただいたと強く感じております。また、北海道臨床細胞学会の事務局担当施設として長年にわたり多くの学会活動に携わることが出来ましたことも今回の受賞と無縁のことではないと思っています。色々な場面で支えていただきました北海道対がん協会細胞診センターのみなさまに紙面をおかりしてお礼を申し上げます。現在は北海道大野記念病院の病理検査室に勤務しております。

今後とも今回の受賞を励みとして微力ではありますが「細胞診」を通して地域社会に貢献できるように努力して参ります。最後になりましたが北海道細胞検査士会の発展と会員のみなさまのご多幸を祈念いたしまして受賞のお礼とさせていただきます。ありがとうございました。



2018年度 北海道細胞検査士会 会計決算報告・会計監査報告

平成30年度 北海道細胞検査士会 会計決算報告				
(2018/4/1-2019/3/31)				
【収入の部】				
項目	予算	決算	執行率	備考
繰越金	340,584	340,584		
会費	310,000	319,000	103%	会員数328名(2018/04/01現在)
講習参加費	450,000	610,000	136%	第31回細胞診従事者講習会・他
助成金	250,000	270,000	108%	第1回細胞診従事者講習会(3回) 100,000 北海道臨床細胞学会(2回) 170,000
利息	-	17		0
その他	-	-		0
合計	1,350,584	1,539,601	114%	
【支出の部】				
項目	予算	決算	執行率	備考
通信費	40,000	48,155	120%	各種発送(会報せるさいくる等)
ホームページ運営費	50,000	69,580	139%	クエスタント利用料等
印刷費	60,000	40,997	68%	会報せるさいくる作成等
事務費	10,000	22,984	230%	事務用品
会議費	100,000	66,140	66%	役員会・学術会議 他
講習会費	600,000	629,755	105%	第31回細胞診従事者講習会・他
精度管理費	40,000	35,404	89%	フレパラストサーベイ
学術活動準備金	100,000	100,000	100%	積立金として
啓発活動費	200,000	154,060	77%	"子宮の日"街頭活動費、検査deフェスティバル
慶弔金	20,000	-	0%	0
渉外活動費	20,000	13,000	65%	他団体会合参加費、協力金等
50周年記念事業準備金	100,000	100,000	100%	2020年
予備費	10,584	-	0%	0
合計	1,350,584	1,280,075	95%	
2019年度への繰越金		259,526		
学術活動準備積立金残高		1,468,277		
50周年記念事業準備金		400,000		

会計監査報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日迄の会計監査を実施した結果、会計帳簿、領収証、貯金通帳等に相違は認められず、適正に処理、記載されていることを報告します。

平成31年4月23日

北海道細胞検査士会 監査

加藤 修
前島 澄子

2019年度 北海道細胞検査士会 事業計画・会計予算（2019年4月1日～）

◎ 事務局関係

1) 総会・役員会の開催

- ・第1回 役員会:2019年5月15日(水) 札幌医科大学附属病院 病理部
- ・第2回 役員会:2019年11月24日(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 予定
- ・第3回 役員会・総会:2020年3月1日(日) 予定

2) 第38回北海道臨床細胞学会総会及び学術集会への協力

- ・2019年11月24日(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂

3) 細胞検査士会都道府県代表者会議への出席

- ・2019年6月7日(金) 京王プラザホテル(東京都) 藤岡会長出席
- ・2019年11月16日(土)～17(土) ホテルグランヴィアン岡山(岡山県) 出席予定

4) その他

- ・北海道医師会主催「北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会」への出席
- ・北海道医師会新年交礼会への出席

◎ 総務関係

1) 公益活動

- ・「LOVE49 街頭活動」2019年4月7日(日) 札幌地下ポールスクエア(三越前広場) 12:30～14:00
子宮頸がん検診啓発資料 2000部を配布
- ・「検査 de フェスティバル 2019」参加(札幌臨床検査技師会主催/がん撲滅コーナーを当会主催)
2019年8月25日(日) 札幌地下歩道空間 12:00～15:00

2) 会報発行

- ・せるさいくる発行 2019年8月(本号) 2020年1月に発行予定

3) ホームページ(HP)事業

- ・講演会、研修会、精度管理事業案内等の情報発信

◎ 学術関係

1) 第27回プレパラートサーベイの実施

2) 第32回細胞診従事者講習会：2020年3月1日(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂

3) 細胞検査士模擬試験 講習会①：2019年10月6日(日) 札幌医科大学 D101 講義室

4) 細胞検査士模擬試験 講習会②：2019年11月10日(日) 札幌医科大学 病理組織実習室

5) 学術講習会「細胞診わかばセミナー」：2020年2月 札幌医科大学 臨床第1講義室(予定)

◎ 会計関係

2019年度 北海道細胞検査士会 予算案			
(2019/4/1-2020/03/31)			
【収入の部】			
項目	2019年度予算	2018年度予算	備考
繰越金	259,526	340,584	
会費	300,000	310,000	会員数320名(2019/05/08現在)
講習参加費	500,000	450,000	第32回細胞診従事者講習会・他
助成金	270,000	250,000	細胞診従事者講習会(国)150,000、日本病理学会北海道支部20,000 北海道臨床細胞学会学術集会(国)150,000、Love49(本部)50,000
利息	-	-	
その他	-	-	
合計	1,329,526	1,350,584	
【支出の部】			
項目	2019年度予算	2018年度予算	備考
通信費	60,000	40,000	各種発送(会報せるさいくる等)
ホームページ運営費	80,000	50,000	クエスタント利用料等
印刷費	60,000	60,000	会報せるさいくる作成等
事務費	30,000	10,000	事務用品
会議費	110,000	100,000	役員会、学術会議 他
講習会費	600,000	600,000	第32回細胞診従事者講習会・他
精度管理費	40,000	40,000	プレパラートサーベイ
学術活動準備金	-	100,000	積立金として
啓発活動費	200,000	200,000	"子宮の日"街頭活動費、検査deフェスティバル
慶弔金	20,000	20,000	
渉外活動費	20,000	20,000	他団体会合参加費、協力金等
50周年記念事業準備金	100,000	100,000	2020年
予備費	9,526	10,584	
合計	1,329,526	1,350,584	
学術活動準備積立金残高		1,468,277	
50周年記念事業準備金		400,000	

今後の予定

「全国」

- 第79回細胞検査士ワークショップ 2020年2月29(土)～3月1日(日) 愛知(藤田医科大学)
- 第58回日本臨床細胞学会秋期大会(岡山)
2019年11月16日(土)～17日(日)：ホテルグランヴィアン岡山他
- 第61回日本臨床細胞学会総会春期大会(神奈川)2020年6月5日(金)～7日(日):パシフィコ横浜
- 第59回日本臨床細胞学会秋期大会(神奈川)2020年11月21日(土)～22日(日):パシフィコ横浜ノース
- 第52回細胞検査士資格認定試験日
 - ・一次試験：2019年10月26日(土) 会場は大阪のみ (CIVI研修センター 新大阪東)
 - ・二次試験：2019年12月7日(土)～8日(日) 会場は東京のみ (東京富士大学 二上講堂)

「北海道」

- 検査 de フェスティバル:8月25日(日) 札幌地下歩道空間
- 細胞診講習会①(一次模擬試験): 2019年10月6日(日) 札幌医科大学 D101 講義室
- 細胞診講習会②(二次模擬試験): 2019年11月10日(日) 札幌医科大学 病理組織実習室
- 第40回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会
2019年11月24日(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂
- 学術講習会「細胞診わかばセミナー」: 2019年2月 札幌医科大学 臨床第1講義室(予定)
- 第32回細胞診従事者講習会: 2020年3月1日(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂
- 北海道細胞検査士会総会: 2020年3月1日(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂

* 講習会の詳細な内容や申し込み方法等は、北海道細胞検査士会ホームページ又はメーリングリストにて随時ご案内する予定です。

メーリングリストへの登録のお願い

会員への情報伝達手段の一つとしてメーリングリストを開設し、北海道臨床細胞学会や北海道細胞検査士会からの情報配信に利用しています。未登録の方々はご参加をお願い致します。

メーリングリストへ登録をして頂ける方は、

①メーリングリスト管理者(徳永 y1tokuna@d9.dion.ne.jp)までメールを送って下さい。

【件名】は「メーリングリスト参加」として下さい。

【本文】には、所属地区、施設名、お名前を記載し送って下さい。

②管理者が登録をしたら、“登録完了メール”が配信されます。



<編集後記>

平成から令和へと年号が新しく変わりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？最近、天気予報をみると「50年に一度の大雨」というワードをよく耳にすることが多くなりました。沢山の情報を得ても、実際に何が大切は情報なのかどのように行動すればいいのかを判断するのは難しいと思うこの頃です。事前の準備と早めの行動が重要ではないでしょうか。今年度より会長が変わり新体制で北海道細胞検査士会の活動を行ってまいります。ホームページやメーリングリストを活用し、会員の皆様に有益な情報を随時お伝えできればと思っております。今後も皆様のご支援と、会の活動にご協力をお願い致します。

(総務 椎名)